

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 新潟県立佐渡中等教育学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒952-0005
新潟県佐渡市梅津1750番地

E-mail school@sado-ss.nein.ed.jp

Website http://www.sado-ss.nein.ed.jp/

児童生徒数 男子 150名 女子 182名 合計 332名
 児童・生徒の年齢 13歳～18歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

- オーストラリア海外研修でのホームステイをとおして、佐渡の地域の情報を発信し、現地の学校で、日本や佐渡の芸能や文化を、パワーポイントを使って発表した。これらの活動により、生徒たちが世界中の人々の多様な思考、生活様式に対して理解を深めることができた。
- 地元の大学に入学した日本人留学生や、現地に在住している日本人から、ここで生活するまでの経緯や努力したこと、現地で苦労していることなどを直接聞き、日本との文化の違いや自己の将来像を構築するきっかけを作った。
- 地元の東新潟火力発電所、新潟雪国型メガソーラーを見学し、そこで、生徒たちは最新の技術とこれからの新潟のエネルギー事情、さらに日本のエネルギーの在り方を学び、人と自然の関係について見直すきっかけとなった。
- 生徒たちが、さまざまな職業を知るために「佐渡汽船」「佐渡総合病院」「佐和田図書館」「佐渡消防本部」「梅津保育園」「齋藤農園」などを訪問して、就業体験をすることにより、社会に出て認められる態度を育成し、事後に文化祭で各自のレポートを発表した。また、「佐渡学～佐渡 魅力化プロジェクト～」で、3年間の佐渡学の集大成として発表を行った。
- 世界規模で地球環境を考え、地元で行動するために、事前学習で佐渡市環境副読本を利用しながら佐渡の環境について学び「加茂湖」周辺のゴミ拾い活動と環境調査を実施した。また生徒会中心に学校近隣の清掃活動を中心にボランティア活動を立案し、実行した。
- 生徒たちが佐渡独自の文化や伝統の理解を深めるために、佐渡の伝統文化である「能楽」を学んでいる。昨年夏に佐渡島内の能舞台で鑑賞し、生徒自身も「能」の謳いを披露した。また、12月には保護者や地域の人たちの前で「能」を披露し、伝統文化の一翼を担う活動をした。
- 「イングリッシュデイリーキャンプ」を実施し、佐渡に赴任している ALT 全員と交流した。グループ単位で早口言葉やクッキーづくり、映画の吹き替えなど、英語でコミュニケーションしながら文化の違いを体感し交流を深めた。
- 小学生、中学生、高校生対象「佐渡地区スピーチコンテスト」に4名が参加した。この活動を通じて、事前学習、発表、評価により、生徒の英語力、表現力を向上させ、異文化理解を促すとともに進路探求の一助とすることができた。
- 生徒達が自ら回りの問題を探し、これについて考察し、創造的思考で問題を解決するために情報を集め、それらを正確にかつ効果的に提示して伝える能力を涵養していきたい。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）